

# 平成28年度事業経過報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## I 平成28年度事業経過報告

平成28年度事業計画に基づく事業実施経過について次の通り報告いたします。

### 1. 労働対策事業

#### (1) 労働災害削減目標の達成状況

「労働災害削減目標」の達成に向け、我々業界の死傷労働災害の内4割以上を占める「墜落・転落」「転倒」災害の大幅な削減を狙い、各種取り組みを推進した結果、一定の成果は見られたものの目標達成には至らなかった。

	平成28年	
	目標	実績
死亡災害	0件	1件
死傷災害（休業4日以上）	100件以下	121件

#### (2) 会議等

労働問題については、適正化事業推進委員会において情報共有を図り、その対策等について検討を行った。また、(公社)全日本トラック協会が開催する労働安全・衛生委員会に出席し、内容について適宜周知に努めた。

- ① 第1回 適正化事業推進委員会（平成28年6月15日 総合研修会館）
- ② 第2回 適正化事業推進委員会（平成28年9月21日 総合研修会館）
- ③ 全ト協 労働安全・衛生委員会（平成28年11月25日 全ト協）
- ④ 第3回 適正化事業推進委員会（平成29年2月17日 総合研修会館）
- ⑤ 全ト協 労働安全・衛生委員会（平成29年3月3日 中部トラック総合研修センター）

※全ト協 労働安全衛生委員は中平賢正副会長

#### (3) 各種研修等の実施

##### ① 事業者研修会

労災事故はもちろんのこと、飲酒運転を含めた交通事故防止の徹底を期す内容での開催とし県内全域で開催した。管轄警察署、労働基準監督署の担当官等に講師として来訪いただき、それぞれの分野で講話をいただいた他、協会担当者が「業界の現状と課題」について説明した。

##### 【平成28年度 事業者研修会開催状況】

地域等	開催日	参加状況	備考
中央	H29/01/18	61名(53社)	岩ト協
路線	H29/01/27	10名(10社)	盛岡労働基準監督署 岩ト協

地域等	開催日	参加状況	備 考
花 巻	H29/02/16	27 名 (25 社)	花巻労働基準監督署 花巻警察署 岩ト協
北 上	H29/02/02	38 名 (34 社)	花巻労働基準監督署 北上警察署 岩ト協
水 沢	H29/02/13	38 名 (27 社)	花巻労働基準監督署 水沢警察署 岩ト協
一 関	H29/02/03	52 名 (41 社)	一関労働基準監督署 一関警察署 岩ト協
大船渡	H29/01/20	26 名 (26 社)	大船渡労働基準監督署 大船渡警察署 岩ト協
釜 石	H29/03/08	21 名 (17 社)	釜石労働基準監督署 釜石警察署 岩ト協
宮 古	H29/02/18	24 名 (24 社)	宮古労働基準監督署 宮古警察署 岩ト協
岩 泉	H29/02/16	13 名 (13 社)	宮古労働基準監督署 岩泉警察署 岩ト協
久 慈	H28/12/09	30 名 (29 社)	二戸労働基準監督署 久慈警察署 岩ト協
二 戸	H29/01/20	30 名 (26 社)	二戸労働基準監督署 二戸警察署 岩ト協
合計		370 名 (325 社)	

## ② 「墜落・転落災害」防止講習の実施

我々業界において休業 4 日以上死傷災害の 4 割を占める「墜落・転落災害」を大幅に削減することを目的として、実際のトラック車両を使用した実地講習会を「日常点検講習会」の開催と併せ実施した。座学に加え、運転席や荷台の乗り降りの際の「3 点保持」や荷台での作業時の安全確保等について、参加者全員に体験いただいております。一定の成果を上げている。

## (4) 各種助成制度の実施状況

### ① 中型・大型運転免許資格取得助成

国内の労働人口が減少を続ける中、業界における人手不足も深刻化しているが、ドライバー不足の問題については、運転免許の取得により一部改善される状況もあることから、若年者を中心とした人材獲得・定着の一助として、中型及び大型自動車運転免許取得に係る費用の一部を助成した。

( 89 名 8,362,000 円 / 前年度実績 90 名 8,639,000 円 )

### ② SAS (睡眠時無呼吸症候群)簡易検査に対する助成

運転者の健康障害防止のため指定検査医療機関である「NPO法人睡眠健康研究所」等を利用し、SASの簡易検査を実施する事業者に対し、(公社)全日本トラック協会と協調しその費用の一部を助成した。

( 226 名 555,000 円 / 前年度実績 189 名 472,500 円 )

### ③ フォークリフト運転技能講習、安全管理者研修受講助成

運送業務に付帯する荷役作業の効率化と安全確保に資するため、陸災防岩手県支部が実施する「フォークリフト運転技能講習」、「安全管理者研修」の受講料の一部を助成した。

なお、平成 28 年度は「荷役作業安全対策ガイドライン」に基づき、教育が必要となる「荷役災害防止担当管理者教育」も助成対象講座に追加した。

● フォークリフト運転技能講習受講料助成 ( 63 名 189,000 円 / 前年度 66 名 198,000 円 )

● 安全管理者研修受講料助成 ( 55 名 110,000 円 / 前年度 8 名 16,000 円 )

(5) トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手協議会（岩手運輸支局・岩手労働局）

平成27年4月3日に閣議決定された「労働基準法の一部を改正する法律案」では、長時間労働者比率が高い業種を中心に、関係行政機関や業界団体等と連携し、長時間労働の抑制に向けた環境整備を進める必要があるとされた。我々トラック運送業界においては総労働時間が長く、また荷主都合による手待ち時間などの実態があり、トラック運送事業者のみの努力で長時間労働を改善することが困難な状況にあると認められたことから、平成28年度についても、学識経験者、荷主、トラック運送事業者、行政機関（厚生労働省、国土交通省）などにより構成される協議会を設置し、実態の把握、パイロット事業、長時間労働改善ガイドラインの策定等を行い、長時間労働の抑制と、その定着を図ることとされ、前年度に引き続き開催している。

- 第4回 協議会 （平成28年6月13日 総合研修会館）
- 第5回 協議会 （平成28年10月27日 総合研修会館）
- 第6回 協議会 （平成29年3月6日 総合研修会館）

【トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会 委員名簿（順不同）】

所属等	職名	委員氏名
岩手県立大学総合政策学部	講師	宇佐美 誠 史
岩手県商工会議所連合会	事務局長	猿 川 毅
全国農業協同組合連合会岩手県本部	副本部長	照 井 勝 也
トヨタ自動車東日本（株）岩手工場	工務部主査	山 本 篤
（株）十文字チキンカンパニー	常務執行役員	小 澤 和 之
ハツ星運輸（株）	代表取締役	小野寺 正太郎
十久輸送（有）	代表取締役	中 平 賢 正
日本通運（株）盛岡支店	支店長	佐久間 啓 文
全日本運輸産業労働組合岩手県連合会	執行委員長	柴 谷 正 孝
（公社）岩手県トラック協会	会 長	高 橋 嘉 信
岩手労働局	局 長	久古谷 敏 行
東北運輸局	局 長	永 松 健 次
東北運輸局岩手運輸支局	支局長	武 部 勝 彦

※事務局として岩手労働局、岩手運輸支局担当官が出席した他、岩ト協 専務・常務もオブザーバーとして出席した。

## 2. 地方適正化事業

岩手県貨物自動車運送適正化事業実施本部は、貨物自動車運送事業法第39条の規定に基づき、次の事項を実施した。

### (1) 事業所巡回指導

平成28年度の適正化指導員による「適正化巡回指導」は、目標400事業所に対し411事業所となった。なお、当該パトロールは206回（昨年193回）実施した。

【巡回指導実施状況 内訳】

通常	Gマーク	新規	新設	前年度D・E	特別巡回	計
292	72	5	18	14	10	411

【霊柩事業者への指導】

霊柩事業者に対する指導は平成18年度以降中断しており、今後の取り扱いについて、岩手運輸支局との調整を進めてきたが、平成28年度、保有車両5両未満の事業者に対しては、集合指導を実施することとし、以下の通り実施している。（5両以上の事業者は通常の巡回指導を実施している。）

実施日	場 所	参加事業者数
H29/02/10	二戸研修会館（二戸・久慈地域）	11
H29/02/16	花巻研修会館（花巻・北上地域）	7
H29/02/22	総合研修会館（中央支部管内）	17
H29/03/10	一関研修会館（水沢・一関地域）	17
H29/03/16	釜石市民交流センター（大船渡・釜石地域）	7
H29/03/22	宮古市シーアリーナ（宮古・岩泉地域）	7
H29/03/30	総合研修会館（予備日）	9
合 計		75

① 総合判定結果の集計

（単位：件）

年度	巡回件数	A	B	C	D	E	その他
平成 28 年度	401	153	173	53	16	5	1
平成 27 年度	420	163	164	68	11	7	7
平成 26 年度	356	124	151	63	13	3	2
平成 25 年度	341	120	141	68	9	2	1
平成 24 年度	343	129	131	61	15	4	3

※特別巡回件数10件は含めていない。

② 巡回指導による改善事項ワースト10

（単位：％）

順位	事 項	未実施率 （％）
1	過労防止を配慮した勤務・乗務時間を定め、これを基に乗務割が作成され、休憩時間、睡眠時間のための時間が適正に管理されているか。	32.5
2	特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。	31.5
3	運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	31.3
4	点呼の実施及びその記録・保存は適正か。	24.5
5	特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。	20.5
6	所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。	16.0
7	営業報告書、事業実績報告書を提出しているか（本社巡回に限る）	15.2
8	乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。	14.7
9	整備管理者に所定の研修を受けさせているか。	12.8
10	運行管理者に所定の研修を受けさせているか。	10.2

③ 平成28年度法令違反事業者の行政処分状況（岩手運輸支局監査による行政処分事業者数）

事業停止0件 / 車両使用停止2件 / 勧告書・警告書2件 計2件

(2) 監査体制の強化について

平成 21 年 10 月から、法令違反に対する行政処分基準と行政処分逃れを防止するため、監査体制が強化された。その中で労働保険・社会保険関係法令違反に対し、初違反でも車両停止処分を科すこととされており、この点については適正化巡回指導の中で加入状況調査を行い、未加入・一部未加入の結果を関係行政に報告し、法に基づく対応を要請した。

【労働保険・社会保険の加入状況の推移】

年度	労働保険	社会保険	巡回件数	労働未加入	社保未加入
平成 28 年度	98.5%	96.2%	398 事業所	6 事業所	15 事業所
平成 27 年度	99.0%	94.6%	413 事業所	4 事業所	22 事業所
平成 26 年度	98.6%	93.8%	356 事業所	5 事業所	22 事業所
平成 25 年度	99.7%	95.5%	341 事業所	1 事業所	14 事業所
平成 24 年度	99.4%	91.7%	343 事業所	2 事業所	28 事業所

(3) 適正化事業指導員の資質向上のための取り組み (指導員研修等)

適正化事業指導員が適切なチェック・指導を行うためには、関係法令や規則に関する知識はもちろんのこと、トラック運送事業経営や業界の動向等についても把握する必要があることから、各種研修会に参加しスキルアップを図った。また、岩手運輸支局との定例打ち合わせや部内打ち合わせの開催により、業務知識や指導に関する事例についての情報を共有し、適正化巡回指導の質の向上と平準化が図られるよう努めた。

- ① 適正化事業指導員全国研修 (初級研修) (平成28年4月26日～27日 東京) 及川指導員
- ② 適正化事業実施機関情報処理システム研修 (平成28年4月28日 東京) 及川指導員
- ③ 適正化指導員専門研修 (平成28年9月1日～2日 東京) 及川指導員
- ④ 北東北3県適正化事業指導員グループ研修会 (平成28年9月26日～27日 秋田市) 専務、常務、指導員
- ⑤ 東北ブロック適正化事業指導員研修会 (平成28年10月17日～18日 仙台市) 専務、指導員
- ⑥ 適正化事業指導員スキルアップ研修 (平成29年2月2日～3日 東京) 三浦指導員
- ⑦ 岩手運輸支局との定例打ち合わせ 適宜
- ⑧ 適正化指導員会議 (部内打ち合わせ) (毎月1回実施)

(4) 貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会

貨物自動車運送事業適正化事業実施機関の組織・運営の公平性及び透明性を確保し、適正化事業の公正かつ着実な推進を目的として、平成 15 年度から継続して開催している。評議委員各位から寄せられる様々な提言は、適正化事業の更なる活性化のため重要な役割を果たしており、今年度も 2 回の評議委員会を開催した。

- ① 第 27 回 評議委員会 (平成 28 年 9 月 21 日 総合研修会館)
- ② 第 28 回 評議委員会 (平成 29 年 3 月 15 日 総合研修会館)

【岩手県貨物自動車運送適正化事業実施機関 評議委員会委員】

業 界	所 属	氏 名
学識経験者	岩手県立大学 総合政策学部 講師	宇佐美 誠 史
マスコミ関係者	(株)岩手日報社 編集局次長	藤 原 哲

業 界	所 属	氏 名
荷主関係者	全国農業協同組合連合会 岩手県本部 副本部長	照 井 勝 也
労働組合関係者	全日本運輸産業労働組合連合会 岩手県連合会 執行委員長	柴 谷 正 孝
一般消費者関係者	岩手県立県民生活センター 生活相談員	油 井 由起子
運送事業関係者	(公社) 岩手県トラック協会 副会長	中 平 賢 正

#### (5) 適正化事業推進委員会

適正化事業を有効かつ円滑に実施するため適正化事業推進委員会を次の通り開催した。

- ① 第1回 適正化事業推進委員会 (平成28年6月15日 総合研修会館)
- ② 第2回 適正化事業推進委員会 (平成28年9月21日 総合研修会館)
- ③ 第3回 適正化事業推進委員会 (平成29年2月17日 総合研修会館)

#### (6) 研修会、セミナーの開催

##### ① 「運行管理者実務研修会」の開催

昨年まで「運行管理規程・荷役災害防止研修会」と題し実施してきたが、講習対象が分かりにくい等の指摘を受け、今年度から「運行管理者実務研修会」と名称を変更し、陸災防と連携し県内全域で開催した。輸送の安全確保や労働災害防止には「適切な運行指示」「的確な作業指示」が重要であることから、実際に点呼を行っている運行管理者等、実務担当者を対象に、運行管理業務のポイントや改善基準告示について理解を深めた他、労災防止については、特に「墜落・転落」「転倒」災害の絶無を期して重点的に研修を行った。

##### 【開催状況】

地域等	開催日	開催場所	参加者
中央・路線	H28/08/06	岩手流通輸送センター	50名(45社)
中央・路線	H28/08/10	岩手広域交流センター	8名(7社)
花 巻	H28/09/07	花巻研修会館	34名(26社)
北 上	H28/09/17	北上研修会館	24名(19社)
水 沢	H28/10/05	水沢研修会館	30名(23社)
一 関	H28/11/05	一関研修会館	29名(23社)
大船渡	H28/11/26	シーパル大船渡	30名(25社)
釜 石	H28/11/04	日鉄住金物流釜石(株)	22名(16社)
宮 古	H28/10/15	シーアリーナ	20名(16社)
岩 泉	H28/07/09	岩泉町民会館	11名(10社)
久 慈	H28/10/14	小久慈公民館	26名(25社)
二 戸	H28/07/23	二戸研修会館	32名(26社)
合計			316名(261社)

※平成27年度は319名(275社)

##### ② 運行管理者試験 受験対策講習会及び受験対策模擬試験の開催

毎年8月と3月の2回行われる「運行管理者試験」の合格率アップを図るため、受験予定者を対象とした「運行管理者試験対策講習会」及び「受験対策模擬試験」を開催した。(講師：(株)輸送文研社 専任講師)

講習会・模擬試験	実施日	会場	参加者
第1回 講習会	H28/07/22	水沢研修会館	42名 (22社)
第2回 講習会	H28/07/23	総合研修会館	93名 (55社)
第1回 模擬試験	H28/08/06	総合研修会館	86名 (50社)
第3回 講習会	H28/02/03	水沢研修会館	37名 (22社)
第4回 講習会	H28/02/04	総合研修会館	72名 (52社)
第2回 模擬試験	H29/02/25	総合研修会館	65名 (43社)

※講習会 受講者計244名 (151社) 模擬試験 参加者計151名 (93社)

### ③ 荷主向け物流セミナー・荷主懇談会の開催

トラック運送事業者と荷主企業各社が一堂に会し、相互理解を深めると共に、より良い関係性を構築し輸送秩序の確立に繋げることを目的として、荷主向け物流セミナーを開催した。今年度は平成29年1月14日（土）プラザイン水沢において、元横浜高校野球部監督で終身名誉監督の渡辺元智氏を講師に招き「高校野球とわが人生 ～成功より失敗、栄光より挫折から学ぶ～」と題して講演会を開催した。荷主企業24社から28名、会員事業者23社から39名が参加した他、一般市民229名が聴講に訪れた。開会に当たり、佐々木常務理事が挨拶に立ち、トラック運送業界の現状と課題について説明するなど、業界の公益性や重要性について理解を求めた。

また、「長時間労働の抑制と取引環境改善」に向け、荷主企業に対し業界の現状と課題について、直接周知を図る機会として「荷主懇談会」を以下の通り開催し理解と協力を求めた。

#### ア) 荷主懇談会 (一関)

開催日 : 平成28年5月27日 (金) 16:00~17:45

場所 : ベリーノホテル一関

参加者 : 荷主企業 22名 (20社) 会員事業者35名

講師 : 一関労働基準監督署 署長 村井雄亮氏  
 東北運輸局岩手運輸支局 運輸企画専門官 鈴木良一氏  
 事例発表 北上製紙サポート(株) 取締役業務部長 幅上和則氏

#### イ) 荷主懇談会 (中央)

開催日 : 平成28年8月25日 (木) 15:30~17:35

場所 : ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

参加者 : 荷主企業 19名 (14社) 会員事業者44名 ※秋田県ト協から4名がオブザーバー参加

講師 : 盛岡労働基準監督署 第一方面主任監督官 鈴木賢治氏  
 東北運輸局 岩手運輸支局 運輸企画専門官 鈴木良一氏  
 事例発表 大昭運輸(株) 代表取締役社長 黒澤信氏

#### ウ) 荷主懇談会 (花巻)

開催日 : 平成29年2月16日 (木) 16:00~17:30

場所 : ホテルグランシェール花巻

参加者 : 荷主企業 8名 (7社) 会員事業者24名

講師 : 花巻労働基準監督署 署長 高橋友行氏  
 東北運輸局 岩手運輸支局 運輸企画専門官 鈴木良一氏

(7) 「貨物自動車運送事業安全性評価事業」(Gマーク)の進捗について

「全国貨物自動車運送適正化事業実施機関」では、トラック運送事業者の交通安全対策等、事業所単位での取り組みを評価し、一定基準をクリアした事業所を「安全性優良事業所」として認定する「貨物自動車運送事業安全性評価事業」を実施している。平成28年度、岩手県では117事業所(内新規23、更新94)を加えた、合計299事業所(県内996営業所の内)が安全性優良事業所として認定された。これは県内全事業所の約30.0%で、全国平均の27.8%を上回る状況となっており、今後もトラック運送事業の安全性を高めるため認定率向上に向けた取り組みを推進する。

※Gマーク認定申請に係る説明会 平成28年5月9日 総合研修会館(矢巾町) 76名(67社)

(8) 引越輸送サービス向上に関する取り組み

引越利用者の利便の増進を図るとともに、「引越輸送は緑ナンバートラックで」をPRするため、岩ト協ホームページでコンテンツ「かしこい引越、プロの知恵教えます」及び引越部会員名簿を通年で掲載した。また、全ト協と共催により「引越基本講習会」「引越管理者講習会」を開催し引越輸送のレベルアップを図った。更には「引越事業優良認定制度」については事業者の他、トラックフェスタや国体PRブースにおいてパンフレットを配布するなど啓発活動も行った。

- ① 引越基本講習 (平成28年9月6日 総合研修会館) 19名(12社)
- ② 引越管理者講習会 (平成28年9月7日 総合研修会館) 48名(17社)

### 3. 交通安全対策事業

(1) 重大交通事故削減目標と達成状況について

平成28年の重大交通事故削減目標として、①第一当事者となる死亡事故の発生件数「0件」、②第一当事者となる事故の発生を「4件以下」、③飲酒・酒気帯び運転、危険ドラッグ使用運転を「0件」の3つを掲げ、各種取り組みを実施した結果、事故の統計を取り始めてから初めて、第一当事者となる死亡事故の発生が暦年において「0件」となり、①については達成することができた。また、飲酒・酒気帯び、危険ドラッグ使用運転についての報告もなく③についても達成されたものの、第一当事者となる重大交通事故が5件発生しており、残念ながら②については達成することが出来なかった。この状況を踏まえ、平成29年も前年と同じ目標を設定しその達成に向け取り組むこととしている。

(2) 会議等

交通安全対策事業の効果的な推進を目的に交通・環境委員会を開催した他、(公社)全日本トラック協会が開催する交通対策委員会に出席し、適宜内容の周知に努めた。

- ① 第1回 交通・環境委員会 (平成28年6月17日 総合研修会館)
- ② 第2回 交通・環境委員会 (平成28年9月23日 総合研修会館)
- ③ 全ト協 交通対策委員会 (平成28年9月29日 全ト協)
- ④ 第3回 交通・環境委員会 (平成29年2月24日 総合研修会館)
- ⑤ 全ト協 交通対策委員会 (平成29年2月16日 中部トラック総合研修センター)

※全ト協 交通対策委員は小野寺正太郎副会長



(3) 春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通安全県民運動等

各種運動期間を通じて、会員事業所及びその従業員一人ひとりの交通安全意識高揚のため、更には交通安全思想の普及・浸透を図るため、次の運動を展開した。

- ① ポスター、垂れ幕の配布及び掲示。
- ② 国、県及び関係機関、団体の主催による各種交通安全運動に参加。
- ③ 各地域単位での巡回パトロールの実施。 ※夏及び年末は県内全域（詳細別途）、春は1支部、秋は1支部で実施。

(4) 「年末年始輸送に関する安全総点検」の実施（国土交通省主催）

（期間：平成28年12月10日～平成29年1月10日迄の32日間）

以下の各項目を重点事項として、全事業所を対象に総点検を行いその報告を求めた。

★報告率：93.6%（対象事業所 627社 報告事業所 587社）

- ① 安全管理（特に乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握、乗務員に対する指導監督体制）の実施状況
- ② 自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況
- ③ テロ防止のための警戒体制の整備状況や乗客等の安全確保のための取組、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況
- ④ 新型インフルエンザ対策の実施状況

(5) 夏期安全点検パトロール

これまで、全支部での安全点検パトロールは年末に実施していたが、支部においては交通安全運動期間中などに点検パトロールを実施していることから、夏期における「安全運行に対する意識の向上並びに労働災害防止の意識の向上を図る」ことを徹底することを目的に7月下旬から8月上旬にかけて実施した。

【夏期安全点検パトロール実施状況】

地域等	実施日	巡回件数	班	人数	備考
中央	H28/08/03	187	19班	45名	
路線	H28/08/05	15	2班	9名	
花巻	H28/08/08	58	5班	11名	
北上	H28/08/04	58	4班	13名	
水沢	H28/07/27	62	4班	9名	
一関	H28/08/04	68	5班	17名	一関警察署、千厩警察署
大船渡	H28/07/27	37	4班	7名	大船渡警察署、大船渡監督署
釜石	H28/08/02	30	3班	8名	
宮古	H28/07/26	30	3班	6名	
岩泉	H28/07/26	11	1班	2名	
久慈	H28/08/01	29	1班	7名	久慈警察署
二戸	H28/07/22	30	3班	7名	
合計		615	54班	141名	

※点検項目については概ね実施がされていたが、一部においては理解されていない事業所が見受けられた。

## (6) 年末安全点検パトロール

年末年始における交通事故防止並びに労働災害防止に資するため点検パトロールを行い、事故防止の徹底を図ることを目的とし、12月上旬に各支部において年末安全点検パトロールを実施した。

### 【年末安全点検パトロール実施状況】

地域等	実施日	巡回件数	班	人数	備考
中央	H28/12/02	191	20班	48名	盛岡監督署同行
路線	H28/12/09	15	2班	10名	
花巻	H28/12/08	58	5班	10名	花巻警察署・遠野警察署、花巻監督署同行
北上	H28/12/02	58	4班	15名	北上警察署、花巻監督署同行
水沢	H28/12/02	63	4班	9名	水沢警察署・江刺警察署、花巻監督署同行
一関	H28/12/06	68	6班	19名	一関警察署・千厩警察署、一関監督署同行
大船渡	H28/12/07	37	4班	8名	大船渡警察署、大船渡監督署同行
釜石	H28/12/08	27	3班	7名	釜石警察署、釜石監督署同行
宮古	H28/12/09	30	3班	6名	宮古警察署、宮古監督署同行
岩泉	H28/12/09	12	1班	2名	
久慈	H28/12/01	30	1班	6名	久慈警察署、二戸監督署同行
二戸	H28/12/02	30	2班	6名	二戸警察署、二戸監督署同行
合計		619	55班	146名	

※点検結果は、点検項目のうち、掲示物や点呼の実施等は概ね実施されていた。昇降設備の活用については、「備付けが必要ない」或いは「設備していない」との回答が13%の事業所であった。

## (7) 交通事故防止・労働災害防止安全大会の開催

県内の交通事故・労働災害が大幅な多発傾向にある中、秋の行楽期や年末の繁忙期とも重なる年末・年始に向け、事故防止意識の高揚を図り、事故を未然に防止するため、平成28年8月24日、岩手県トラック協会総合研修会館（矢巾町）において、「交通事故防止・労働災害防止安全大会」を開催し、会員147名（128社）が参加した。

当日は、高橋会長、武部岩手運輸支局長の挨拶に続き、岩手県警察本部、岩手労働局より交通事故、労働災害防止に関する講話を頂戴した他、全国の交通事故の発生状況や岩手県内の交通事故及び労働災害の発生状況について、協会担当者がそれぞれ報告し情報の共有を図った。また、大会の締めくくりとして、本会、庄子清信 副会長が提案した「安全宣言」が満場の拍手をもって採択され、参加者全員が改めて重大交通事故・労働災害の根絶を誓い合い大会を終了した。

## (8) 初任運転者に対する特別な指導教育講習の開催

運転者雇入れ時の「初任運転者に対する特別な指導」を行うことが困難な事業者に代わり、同指針に基づく集合教育講習を12回開催し、初任運転者に対する特別指導の実施率の向上を図った。

※講師は（一社）岩手県指定自動車教習所協会より派遣頂いている。

### 【初任運転者に対する特別指導教育講習実施状況】

開催日	参加者	講師
H28/04/07	28名（24社）	盛岡南ドライビングスクール
H28/04/26	30名（23社）	水沢自動車学校

開催日	参加者	講師
H28/05/19	35名(24社)	紫波中央自動車学校
H28/06/24	23名(19社)	S Tモータースクール
H28/07/22	37名(29社)	北上自動車学校
H28/08/23	31名(25社)	盛岡南ドライビングスクール
H28/09/21	21名(14社)	花北モータースクール
H28/10/27	23名(19社)	水沢自動車学校
H28/11/22	32名(22社)	北上自動車学校
H28/12/16	19名(15社)	紫波中央自動車学校
H29/01/20	21名(17社)	S Tモータースクール
H29/02/24	39名(26名)	花北モータースクール
合計	339名(延べ257社)	

※全日程を総合研修会館(矢巾町)で実施。

### (9) 日常点検講習会

不正改造車排除強化月間に合わせ、6月に日常点検講習会を県内11カ所で開催した。毎年、大型車ディーラーから講師をお招きし開催しており、今年度は運転者を中心に419名(228社)が受講し点検技術を学んだ。また、今年度は前段に「安全運転講習」と併せ「墜落・転落事故防止講習」を実施しており、実際にトラック車両を使用して、運転席や荷台の乗降について実地講習を行い、改めて安全な乗降について啓発を図った。

#### 【日常点検講習会 開催状況】

地域等	開催日	開催場所	参加者	ディーラー
中央・路線	H28/06/25	岩手流通輸送センター	52名(35社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
花巻	H28/06/04	花巻研修会館	37名(15社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
北上	H28/06/27	北上研修会館	52名(26社)	いすゞ自動車東北(株)
水沢	H28/06/18	水沢研修会館	64名(22社)	岩手日野自動車(株)
一関	H28/06/04	一関研修会館	60名(26社)	岩手日野自動車(株)
大船渡	H28/06/04	シーパル大船渡	34名(19名)	UDトラックス岩手(株)
釜石	H28/06/25	日鉄住金物流釜石(株)	30名(17社)	UDトラックス岩手(株)
宮古	H28/06/18	休暇村 陸中宮古	25名(15社)	いすゞ自動車東北(株)
岩泉	H28/06/18	岩泉自動車運輸(株)	16名(12社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
久慈	H28/06/04	いすゞ自動車東北(株)久慈営業所	26名(25社)	いすゞ自動車東北(株)久慈営業所
二戸	H28/06/25	二戸研修会館	23名(16社)	岩手日野自動車(株)
合計			419名(228社)	

### (10) 運転者安全講習会の開催

トラック運転者が正しい知識と技術を身に着けると共に、事故防止意識の高揚を図るため、本年度も「運転者安全講習会」を県内2地域で開催した。

地域等	開催日	場所	参加者
北 上	H28/11/04	日本詩歌文学館	133名 (36社)
二 戸	H28/11/04	二戸研修会館	33名 (19社)
計			166名 (55社)

### (11) 第41回岩手県トラックドライバーコンテストの実施

運転技術の向上、安全運転意識の高揚を目的として、今年度も岩手県トラックドライバーコンテストを開催した。

競技	開催日	場所	参加者
学 科 競 技	H28/07/02	県内3ヶ所 (盛岡、水沢、久慈)	43名 (19社) (前年：38名19社)
実 科 競 技	H28/07/30	岩手県自動車運転免許試験場	42名 (19社) (前年：38名19社)

※トレーラ部門は運転競技を実施していない。

#### 【各部門上位入賞者】

順位	11t部門	4t部門	トレーラ部門
1位	日本通運(株)盛岡支店 坂本 浩	日本通運(株)盛岡支店 佐々木 康成	日本通運(株)盛岡支店 内田 義信
2位	岩手雪運(株) 大橋 正典	東北エース物流(株)盛岡営業所 高橋 和幸	東北自動車輸送(株)岩手営業所 金澤 祐樹
3位	白金運輸(株) 及川 貴史	日本通運(株)盛岡支店 中村 貢輔	岩手雪運(株)北上営業所 小松 敏

順位	女性部門
1位	ヤマト運輸(株)岩手主管支店 加藤 康子
2位	岩手県南運輸(株) 志田 紗也佳

※最高得点者に贈られる総合優勝(岩手県知事賞)は日本通運(株)盛岡支店 坂本浩選手(11t部門)が受賞した。

#### ■会長特別賞(敢闘賞)

車両保有台数30両以下の事業者(県内本社)所属で、各部門5位までに入賞しなかった選手のうち成績が最も優秀な選手に会長特別賞(敢闘賞)を授与した。

11t部門 (株)ケイ・シー・ティー 田 中 力  
4t部門 久慈貨物運送(資) 播 磨 翔 也

#### 【第48回 全国トラックドライバーコンテスト】

(公社)全日本トラック協会主催の第48回全国トラックドライバーコンテストが自動車安全運転センター安全

運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において、10月22日・23日の2日間にわたり開催された。本会からは「岩手県トラックドライバーコンテスト」各部門の上位入賞者の中から以下の選手を岩手県代表として派遣しており、各選手ともそれぞれの部門で健闘した。

【第48回全国トラックドライバーコンテスト出場選手】

部門	事業者名	選手氏名
11t 部門	日本通運(株)盛岡支店	坂 本 浩
4t 部門	東北エース物流(株)盛岡営業所	高 橋 和 幸
トレーラ部門	西濃運輸(株)盛岡支店	田 中 和 伸
女性部門	ヤマト運輸(株)岩手主管支店	加 藤 康 子

(12) (公社)全日本トラック協会 第56回「正しい運転・明るい輸送」運動への参加

【運動期間】平成28年11月16日～平成29年1月10日 ※平成29年度通常総会で表彰伝達の予定

- ① 「実施計画」等の配付による会員事業所への運動の周知
- ② 事業所訪問による指導（適正化指導員による指導）
- ③ 年末安全点検パトロールにおいて運動の周知
- ④ 優良従業員等の表彰推薦

ア) 従業員の部

事業者名	氏 名
北上運輸(株)	大 脇 順
田老運送(有)	鈴 木 茂

イ) 事業所団体の部

事業所・団体
(有) 似内自動車工業

(13) 第34回 岩手県トラック協会 交通安全コンクールの実施

消費者ニーズの多様化・複雑化に伴い、人々の生活時間帯も大幅に拡大しており、トラック運送業界では更なる輸送の安全性が求められている。一方、事故防止はトラック運送事業者にとって最大の課題であることから、会員事業者をあげて交通安全思想の普及を図り、交通事故の根絶に繋げるため、平成28年9月1日から平成29年2月末日迄の6ヶ月間を実施期間と定め標記コンクールを実施した。実施結果は以下の通り。

① 事業所表彰 9事業所（前年：9事業所）

地域等	事業所名
中 央	西部運送(株)
中 央	ロジトライ東北(株) 盛岡事業所
中 央	ツーワン輸送(有) 盛岡営業所
中 央	東北鉄道運輸(株) 盛岡営業所

地域等	事業所名
北 上	ヤクルトロジスティクス（株） 岩手営業所
水 沢	ロジトライ東北（株） 水沢事業所
水 沢	村上運送（有）
一 関	（有）栄和興業
路 線	田中産業（株） 盛岡営業所

② 個人表彰 1名（前年：1名）

地域等	氏名	事業所名
一 関	山 平 徳 治	（有）栄和興業

（14）アルコール検知器購入助成

悪質な違反事項である飲酒・酒気帯び運転を撲滅するため、平成15年度からアルコール検知器の会員事業者に対する設置・活用を義務付けし、購入に対する助成制度を行ってきたが、輸送安全規則の改正により平成23年5月から、点呼時におけるアルコール検知器の使用及び記録等が義務付けされたことから、長距離運行の際に車両に携行させるための簡易型検知器、携帯電話を活用した検知機器、営業所設置の記録式検知器の導入について助成事業を継続実施した。

- ハンディモバイルタイプ 【 152台 578,300円 / 前年度 105台 492,900円 】
- 携帯電話活用タイプ 【 50台 1,032,900円 / 前年度 10台 306,200円 】
- 据置記録タイプ 【 25台 944,800円 / 前年度 20台 843,800円 】

（15）健康診断受診料助成

運転者の健康増進と疾病予防を促進し交通事故防止に繋げるため、健康診断受診料助成を継続実施した。また、事業資金については、全国的な要望行動等の結果が実を結び、平成28年度以降も「運輸事業振興助成交付金」の活用継続が認められたことから、前年までの助成単価を継続し実施している。（@3,000円/名）

【 6,902名 20,680,686円 / 前年度 6,271名 18,812,000円 】 ※@3,000/名

（16）運転記録証明助成 7,801名 4,914,630円 / 前年度7,967名 5,019,200円

（17）運転者適性診断受診 受診料助成

【平成28年度 適性診断受診料助成実績】

区分	総受診者数	助成額（助成対象者数）	備考
・一般診断	2,556名	4,347,000円（1,890名分）	（前年度 2,039名 4,689,700円）
・初任診断	1,586名	5,118,300円（1,089名分）	（前年度 1,153名 5,419,100円）
・適齢診断	174名		
合計	4,316名	9,465,300円（2,979名分）	（前年度 3,192名 10,108,800円）

※上記、“（助成対象者数）”は総受診者数の内数。

※本会設置のNASVAネット機器利用による受診は延べ1,151名（助成対象外分も含めた総計）

(18) 整備管理者講習の受講促進 (岩手運輸支局実施) 28年度は貨物対象講習なし

(19) 運行管理者一般講習 受講料助成 【 758名 2,341,592円 / 前年度 711名 2,204,100円 】

(20) 運行管理者基礎講習受講料の助成について

運行管理体制 (点呼執行体制) の強化を図るため、従業員に対し補助者選任の要件である「運行管理者等基礎講習」を受講させた事業者に対し受講料の一部を助成した。【 105名 525,000円 / 前年度 67名 335,000円 】

(21) ドライバー等安全教育訓練促進助成

安全意識の高揚と運転技能向上等を目的として、ドライバー、運行管理者等を指定安全運転研修施設に派遣し訓練を実施する会員事業者に対して (公社) 全日本トラック協会と協調し助成を行った。

(中央研修所: 茨城県ひたちなか市 対象) 【 12名 1,144,310円 / 前年度 10名 1,058,020円 】

(22) 安全広告塔の整備

県内に点在する既設の安全広告塔の整備、撤去等について、管轄地域からの情報提供、要請に基づき行っており、今年度は大船渡地域の市役所および警察署の要請により、安全広告塔および安全回転灯の各1基を老朽化により撤去した。

- 安全広告塔 1基 (大船渡市大船渡町丸森地内)
- 安全回転灯 1基 (大船渡市三陸町越喜来地内)

(23) ライトの早め点灯運動実施の取組み

ライトの早め点灯運動は、高い事故抑止効果が期待されることからこれまでも取り組んできたが、今年度も引き続き、ラジオCMによりドライバーに早め点灯の目安時間を呼びかけ運動の促進を図った。また、放送を9月に前倒しして実施したことで、日没時刻が本格的に早くなる11月以降に向け、早い段階で本運動の周知と意識啓発を図ることが出来た。(9月1日~翌3月31日 ラジオ放送局2局 10秒/本 合計304本 放送)

(24) ドライブレコーダー等導入促進助成

(公社) 全日本トラック協会との協調助成制度として、交通事故防止や安全運転指導、更には事故処理の効率化等を目的とし、事故や急加速・急減速等、一定の衝撃が生じた時に、その前後の映像や走行データ等の記録可能なドライブレコーダー等について導入促進助成を実施した。

【平成28年度 ドライブレコーダー等助成実績】

機 器	助成額	備考
・運行管理連携型	692台 26,847,000円	(前年度 703台 27,474,000円)
・簡易型	95台 950,000円	(前年度 192台 1,920,000円)
・標準型	149台 2,962,000円	(前年度 61台 1,220,000円)
合計	936台 30,759,000円	(前年度 956台 30,614,000円)

(※平成28年度までの延べ助成台数6,311台)

## (25) 安全装置等導入促進助成

重大交通事故の危険予測に効果がある以下の安全装置の導入助成を実施した。

- 後方視野確認装置 122台 4,817,965円 / 前年度 90台 3,600,000円
- 吹き込み式アルコールインターロック 実績なし / 前年度 実績なし
- ETC2.0 3,647台 36,084,074円 ※国の方針に従い全ト協との協調助成

## (26) 可動式突入防止装置導入促進助成

ダンプ車両が荷卸しの際、突入防止装置が障害物等に接触せず容易に作業できるよう、また不正改造車両（突入防止装置未装着車）の追放を目的として、可動式突入防止装置（リアバンパー）導入に対して助成事業を実施した。

( 29台 2,849,000円 / 前年度 20台 1,979,000円 )

## (27) 広報活動等

事故防止の他、環境・輸送秩序確立等と併せて、新聞・ラジオ等メディアを活用し広く地域住民に業界の取組みをPRしたほか、次の事業を実施した。

- |                                  |           |
|----------------------------------|-----------|
| ① 平成28年度交通安全運動実施計画ポスター           | 700枚作成、配布 |
| ② 第34回交通安全コンクール実施要綱              | 700枚作成、配布 |
| ③ トラックドライバーコンテスト実施要綱             | 150部作成、配布 |
| ④ 年末点検パトロール要請書                   | 670枚作成、配布 |
| ⑤ 各種交通安全垂れ幕 (交通安全運動、正しい運転明るい輸送等) | 適宜配布      |
| ⑥ 春の全国交通安全運動ポスター                 | 630枚配布    |
| ⑦ 夏の交通事故防止県民運動ポスター               | 630部配布    |
| ⑧ 秋の全国交通安全運動ポスター                 | 630枚配布    |
| ⑨ 冬の交通事故防止県民運動ポスター               | 650枚配布    |
| ⑩ 平成28年度運行管理者試験ポスター・案内 (2回)      | 各650枚配布   |

## 4. 環境対策事業

業界の指針である「環境対策中期計画」に基づき、輸送の効率化、エコ・ドライブの普及促進や社会と共生し環境に優しいトラック輸送実現のため、環境負荷低減等に積極的に取り組んだほか、国の低公害車導入補助事業も活用した低公害車の導入促進、また、EMS対応機器導入、アイドリング・ストップ支援機器導入助成、グリーン経営認証取得促進助成、エコ・タイヤ購入助成事業や、今年度で7回目となるエコ・ドライブコンテストの継続開催に取り組む等、環境対策事業を次の通り実施した。

### (1) 会議等

環境対策事業の効果的な推進のため交通・環境委員会を開催した他、(公社)全日本トラック協会が開催する環境問題対策委員会に出席し、内容について適宜周知に努めた。

- ① 第1回 交通・環境委員会 (平成28年6月17日 総合研修会館)
- ② 第2回 交通・環境委員会 (平成28年9月23日 総合研修会館)



- ③ 第3回 交通・環境委員会 (平成29年2月24日 総合研修会館)
- ④ 全ト協 環境問題対策委員会 (平成29年3月1日 中部トラック総合研修センター)
- ※全ト協 環境問題対策委員は藤村秀一副会長

## (2) 省燃費・安全運転講習会の開催

環境対策、安全確保、経営改善に効果のあるエコ・ドライブの日常的な実践を習得し、環境保全、交通事故防止につなげることを目的として、今年8回目となる「エコ・ドライブコンテスト」の予選会を兼ね、大型車ディーラー各社の協力を頂き、省燃費安全運転講習会を下記のとおり実施した。

### 【省燃費・安全運転講習会開催状況】

地域等	年月日	場 所	参加者	講 師
中 央	H28/08/20	岩手流通輸送センター	11名(10社)	岩手日野自動車(株)
路 線	H28/08/20	岩手三八五流通(株)	4名(3社)	UDトラックス岩手(株)
花 巻	H28/08/20	花巻研修会館	6名(5社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
北 上	H28/08/20	北上研修会館	13名(8社)	いすゞ自動車東北(株)
水 沢	H28/09/03	水沢研修会館	9名(9社)	岩手日野自動車(株)
一 関	H28/09/10	一関研修会館	11名(8社)	岩手日野自動車(株)
大船渡	H28/06/04	シーパル大船渡	34名(19社)	UDトラックス岩手(株)
釜 石	H28/06/25	日鐵住金物流釜石(株)	30名(17社)	UDトラックス岩手(株)
宮 古	H28/06/18	休暇村「陸中宮古」	25名(15社)	いすゞ自動車東北(株)
岩 泉	中 止	道の駅「いわいずみ」	-	UDトラックス岩手(株)
久 慈	中 止	いすゞ自動車東北(株)	-	いすゞ自動車東北(株)
二 戸	H28/09/03	二戸研修会館	3名(3社)	UDトラックス岩手(株)
合計			146名(97社)	

※大船渡・釜石・宮古は日常点検講習会と併せて座学のみ実施。

## (3) エコ・ドライブコンテストの開催

環境対策のみならず、事故防止、輸送コスト削減にも効果のあがるエコ・ドライブの推進を図ると共に、この取り組みを広く地域社会にPRしエコ・ドライブの更なる普及促進につなげることを目的に、平成28年10月15日、総合研修会館において第8回目となる「エコ・ドライブコンテスト」を開催した。予選会を兼ねて各地域で実施した「省燃費・安全運転講習会」の受講者の内、成績が優秀だった24名を選手として選抜し、流通センター内の異なる2コースを周回して平均車速と平均燃費の数値により順位を決定した。当日は、大型ディーラー各社の協力のもと事故なく盛会裏に終了し上位入賞者として次の5名を表彰した。 ※参加者全員の平均燃費は8.07km/l、平均車速は30.6km/h

### 【第8回エコ・ドライブコンテスト上位入賞者】

順位	地域等	事業者	氏 名
第1位	二 戸	鈴丸商事運輸(有)	末 松 憲 芳
第2位	久 慈	久慈貨物運送(資)	播 磨 翔 也
第3位	一 関	(有)栄和興業	佐 藤 良 一
第4位	中 央	中越ロジテム(株)	藤 井 忍
第5位	路 線	岩手三八五流通(株)	櫻 仁 志

#### (4) 最新規制適合車の導入促進

- ① ポスト新長期規制適合車の導入に係る近代化基金融資の推薦及び当該実行融資に対する利子補給を行った。  
(詳細：5. 経営改善事業 (4) 参照)
- ② 環境保全対策に貢献するため、低公害・低燃費車両の導入促進助成を継続した。
  - ・低公害車導入助成（ハイブリッド） 【実績なし / 前年度 実績なし】

#### (5) EMS用機器導入助成事業の実施

高止まりを続ける燃料価格がトラック運送事業経営を圧迫し続ける中で、エコ・ドライブの推進は、環境負荷低減だけではなく、コスト削減の観点からも重要度の高い取り組みとなっている。このような状況を踏まえ、エコ・ドライブを計画的かつ継続的に実施し、運行状況について客観的評価や指導を一体的に行う管理システムの更なる普及を図るため、今年度もデジタルタコグラフを中心としたEMS用機器導入に対する助成を行った。

( 299台 11,157,000円 / 前年度 227台 9,080,000円 )

##### 【EMS機器装着助成制度の特例】

車両総重量7t以上8t未満又は最大積載量4t以上5t未満のトラック車両への運行記録装着義務化への対応として「アナログタコグラフ」の装着に係る費用の一部を助成した。( 67台 1,308,500円 / 前年度 3台 60,000円 )

#### (6) 環境クリーンキャンペーンの実施

「トラックの日」及び「いわて国体」「いわて大会」の開催に際して、PR効果を上げるため9月24日の実施を基本とし、各支部において「環境クリーンキャンペーン」を実施した。会員310社から計566名が参加し、日頃、利用している道路への感謝の気持ちを込めつつ、県内の主要幹線道路や国体競技会場周辺道路を清掃し汗を流した。

##### 【環境クリーンキャンペーン実施状況】

地域等	開催場所	実施日	参加者
中央	国道4号線	H28/09/24	53名(37社)
路線	流通センター～いわぎんスタジアム(周回道)	H28/10/01	11名(8社)
花巻	花巻市内の国道4号線及び花巻IC付近	H28/09/24	63名(36社)
北上	北上総合運動公園周辺	H28/10/21	53名(39社)
水沢	国道4号線(水沢フラワーロード)	H28/09/24	143名(33社)
一関	国道4号線(宮城県境～萩荘高梨交差点)	H28/09/24	101名(51社)
大船渡	国道45号線(下船渡～魚市場周辺)	H28/09/24	35名(25社)
釜石	国道45号線(大平～平田)	H28/09/24	29名(16社)
宮古	トラックフェスタ会場周辺 他	H28/09/24	20名(17社)
岩泉	※台風10号による被害のため取りやめ	-	-
久慈	国道45号線(久慈新港～陸中野田駅付近)	H28/09/24	27名(26名)
二戸	国道4号線(二戸市総合スポーツセンター付近)	H28/09/24	31名(22社)
計			566名(310社)

#### (7) 不正改造車排除運動並びにディーゼルクリーンキャンペーンの実施

6月に開催した「日常点検講習会」において、不正改造防止パンフレットを配布し運動について周知を図った。ま

た、10月には「ディーゼルクリーンキャンペーン」を展開し、エアクリーナーの自主点検を集中的に実施した。

( 463社 8,519台点検実施 )

#### (8) アイドリング・ストップ支援機器導入助成の実施

アイドリング・ストップを支援し、エコ・ドライブのより効果的な実践に繋げるため、協会が認定した支援機器の導入費用の一部を助成した。( 助成額合計 7,871,900円 / 前年度 6,793,900円 )

##### 【アイドリング・ストップ支援機器導入助成実施状況】

機 器	助成額		備 考
蓄熱マット・電気毛布	44 枚	440,000 円	(前年度 29 枚 348,000 円)
蓄熱ヒーター・蓄冷クーラー	6 台	240,000 円	(前年度 5 台 200,000 円)
燃烧式エアヒーター	36 台	4,191,900 円	(前年度 48 台 5,405,900 円)
車載バッテリー式冷房装置	19 台	2,040,000 円	(前年度 7 台 840,000 円)

#### (9) グリーン経営認証制度の促進

グリーン経営の普及を促進するため、新規認証取得及び更新に係る費用の一部を助成した。

( 新規 3件 300,000円 更新18件 798,000円 / 前年度 新規 実績なし 更新12件 532,000円 )

#### (10) ポスターの配布等

- ディーゼルクリーンキャンペーンのパンフレット 650 枚
- 不正改造防止等点検整備推進運動ポスター(岩手運輸支局) 650 枚

## 5. 経営改善対策事業

### (1) 会議等

中小企業対策・経営改善に関する事項は「総務委員会」が担当することとしており、経営改善事業に関する事項について、総務委員会の中で協議を行った。また、(公社)全日本トラック協会が開催する「経営改善・情報化委員会」に出席し機会を捉えて内容の周知に努めた。

- ① 第1回 総務委員会 (平成28年6月16日 総合研修会館)
- ② 第2回 総務委員会 (平成28年9月13日 総合研修会館)
- ③ 全ト協 経営改善・情報化委員会 (平成28年7月15日 全ト協) ※事務局長が代理出席
- ④ 第3回 総務委員会 (平成29年2月24日 総合研修会館)
- ⑤ 全ト協 経営改善・情報化委員会 (平成29年3月3日 全ト協) ※常務理事が代理出席

※全ト協 経営改善・情報化委員は庄子清信副会長

### (2) 研修事業・セミナーの開催(人材育成)

- ① 平成28年度「トラック運送事業者のための人材確保セミナー」

開催日時 平成28年11月8日(火)13:30~15:30

開催場所 総合研修会館 大研修室

参加者 43名(35社)

講師 (株)コヤマ経営 代表取締役 小山 雅 敬 氏

その他 (公社) 全日本トラック協会との共催

## ② 経営者セミナー

目まぐるしく変化する経営環境の中で、事業経営者に有益な情報、話題等を適宜提供し、事業経営の活性化、トラック運送業界全体のレベルアップに繋げるため、経営者セミナーを開催した。

### 【経営者セミナー開催状況】

開催日	演題	講師	参加者	備考
H29/01/18	笑いのコミュニケーション術	桂 枝太郎 (落語家)	61名(53社)	※中央
H29/01/20	ふるさとは負けない	神山 浩樹 (岩手放送アナウンサー)	30名(26社)	※二戸
H29/01/26	トラック運送事業者における ドライバーの健康管理	中路 重之 (弘前大学大学院教授)	107名(100社)	※新春講演会
H29/02/03	一関の誇り 高平小五郎	平野 恵一 (明治史研究家)	52名(41社)	※一関
H29/02/18	緊急！勝ち残る物流業の経営者セミナー	五十嵐 常太 (三井住友海上経営塾・センター)	24名(23社)	※久慈

## ③ 若手経営者、後継者、従業員等の育成に関する事業

今年度も、本会の会員事業者に所属する50歳までの若手経営者、後継者、管理職等により構成される「岩手県トラック協会青年経営研究会」と連携し、若手経営者等を対象とする人材育成研修事業を実施した他、(公社)全日本トラック協会が主催する若手経営者・後継者を対象とした各種研修会に参加した。また内閣が「すべての女性が輝く社会づくり」を推進する中、業界における女性従業員の資質向上・活性化に向け研修会を実施した。

### ア) 人材育成研修会 (青年経営研究会)

開催日	演題	講師	参加者
H28/06/07	アンガーマネジメントセミナー 入門編	三浦 敏 城北運輸(有) 代表取締役社長	37名(34社)
H29/02/08	トラブルに直面する前に！運送会社の労務防衛対策 ～運送業の現場で何が起きているのか？～	小山 雅敬 (株)コヤマ経営 代表取締役	47名(44社)

### イ) 視察研修の実施(平成29年3月7日～8日) 会員13名(13社)参加

- ・ヤマト運輸 羽田クロノゲート(物流ターミナル)見学
- ・神奈川県トラック協会青年部会との交流会

### ウ) (公社)全日本トラック協会青年部会 東北ブロック大会

平成28年10月27日 ホテルメトロポリタン山形 会員10名(10社)参加

「これからの日本における地方企業の進むべき道」

講師：佐藤繊維(株) 代表取締役社長 佐藤正樹氏

※各県事業発表

### エ) (公社)全日本トラック協会青年部会 全国大会

平成29年2月24日 京王プラザホテル 会員12名(12社)参加

講演「協力雇用主の活動について」

講師：特定非営利活動法人福岡県就労支援事業者機構 理事 野口義弘 氏

パネルディスカッション「トラック運送業界における人材確保対策について」

コーディネーター：日本PMIコンサルティング（株） 代表取締役社長 小坂真弘 氏

オ) (公社) 全日本トラック協会 青年部会 全国代表者協議会・研修会への出席

全ト協青年部会が主催する「全国代表者協議会・研修会」について、「岩手県トラック協会青年経営研究会」に出席を要請した。

- 第1回 全国代表者協議会・研修会 (平成28年6月17日) 青研 石川会長 出席
- 第2回 全国代表者協議会・研修会 (平成28年11月24日) 青研 石川会長 出席
- 第3回 全国代表者協議会・研修会 (平成29年2月23日) 青研 海鋒副会長 出席

カ) 女性社員研修会

平成28年10月13日 ベリーノホテル一関 会員49名(28社)参加

- 「生活習慣病予防の食事について」

講師：一関市 保険福祉部 健康づくり課長補佐 兼 栄養主任主査 佐藤 恵子 氏

- 第二部 「こころの健康づくり」

講師：一関市 保健福祉部 健康づくり課 健康推進係 主任保健師 藤島 和江 氏

(3) 中小企業大学校講座受講促進助成制度

中小企業大学校(仙台校)が実施する経営者、管理者を対象とする各講座を受講した会員に対し、(公社)全日本トラック協会と協調して受講料の一部を助成した。(受講料の2/3)

( 8講座14名、助成額219,800円 / 前年実績 4講座4名 助成額68,800円 )

(4) 近代化基金融資に係る利子補給事業

トラック運送事業の近代化・効率化を目的として、近代化基金融資の推薦並びに当該実行融資に係る利子補給事業を実施した。また、本年度は「一般融資」、「ポスト新長期融資」、共に年度途中で融資枠に到達したため、その超過分を(公社)全日本トラック協会が実施する平成28年度中央近代化基金融資制度(調整融資)に対し推薦した。実施状況は下表の通り。

【融資実行状況及び利子補給額】 ※利子補給額は全ト協助成分を除いて記載

融資制度	H28年度 融資推薦		利子補給額(円)	備考
	実行額/融資枠 (円)	件数		
一般融資	99,911,000 / 100,000,000	8	1,481,979	車両8両
一般特例(省エネ関連)	0 / 2,000,000	0	0	
ポスト新長期	627,000,000 / 627,000,000	42	8,413,535	車両50両
NOx・PM	〈H23/5申込取扱終了〉		436	第1/四半期で終了
合計	726,911,000 / 729,000,000	50	9,895,950	車両58両

【中央近代化基金融資制度（調整融資） 推薦額】

融資制度	H28年度 融資推薦		備考
	推薦額（円）	件数	
一般融資	16,020,000	3	車両2両、荷役機械1両
ポスト新長期	26,146,000	2	車両2両
合計	42,166,000	5	車両4両、荷役機械1両

※平成28年度第2回公募（H28.11.14～H29.1.31）に推薦申込

## 6. 広報事業

### (1) 会議等

事業の効果的な推進のため、その検討の場として広報委員会を開催した他、（公社）全日本トラック協会が開催する担当者会議等に出席し、先進的な事例や効果的な活動等について全国の協会との情報交換を図った。

- ① 第1回 広報委員会 （平成28年6月14日 総合研修会館）
- ② 全ト協 広報委員会 （平成28年7月26日 全ト協）
- ③ 第2回 広報委員会 （平成28年8月10日 総合研修会館）
- ④ 第3回 広報委員会 （平成28年9月13日 総合研修会館）
- ⑤ 全ト協 広報委員会 （平成28年10月14日 ロジワール那覇）
- ⑥ 全ト協 広報委員会 （平成29年2月3日 全ト協 ※専門誌記者懇談会同日開催）
- ⑦ 第4回 広報委員会 （平成29年2月14日 総合研修会館）
- ⑧ 全ト協 広報業務担当者会議 （平成29年2月15日 全ト協）

※全ト協 広報委員は高橋嘉信会長（東北ブロック代表）

### (2) 「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」への協力

平成28年10月に開催された国体・大会等の成功を、トラック輸送や競技の応援行動により後押しすることで、トラック運送業界の存在感を示し、その公益性・重要性を地域住民に対し周知を図るため、業界PR事業の一環として以下の取り組みを行った。

#### ① 関連資材、物資等の運搬

国体等の開催に当たっては、その準備段階から終了後に至るまで、関連資材、物資等、様々なトラック輸送のニーズが想定されたことから、国体局との間にオフィシャルスポンサー契約を締結し、大会局からの要請に応じ、適宜、物資輸送を実施し無事に完了した。

ア) 花苗の配送	実施時期	6月、8月	車両	延べ38両
イ) 競技用具、飲料の配送	実施時期	6月	車両	延べ9両
ウ) 式典用具の運搬	実施時期	9月	車両	延べ7両（作業員20名）
エ) パンフレット等の運搬	実施時期	9月	車両	延べ2両
オ) 車いすの運搬	実施時期	10月	車両	延べ92両
			合計	148両

※費用は「広告・宣伝費」の処理となる旨、事前に確認し、広報事業の一環として実施した。また、運輸事業振興費補助金からの支出が認められなかったため、平成28年度第5回理事会において承認を得て、会費収入の一部を公益目的事業に繰り入れている。

## ② 「希望郷いわて大会」観戦・応援行動の実施

障がい者大会の競技を観戦・応援し、活気と盛り上がりのある大会運営に協力すると共に、トラック運送業界の存在感をPRすることを狙い、平成28年10月23日（日）に「希望郷いわて大会」の観戦・応援行動を実施した。当日は両会場とも日差しはあるものの、冷たい北風が吹きつける厳しい状況の中での観戦となったが、会員事業者所属の従業員を中心とした総勢800名の大応援団が会場を埋め、拍手と大声援で競技会場は大いに盛り上がりを見せ、選手や関係者など多くの方々から感謝の言葉を頂いた。

### ア) いわぎんスタジアム（盛岡市） サッカー競技

- ・参加支部 : 中央、路線、宮古、久慈、二戸
- ・参加者数 : 約300名

### イ) 北上総合運動公園（北上市） 陸上競技

- ・参加支部 花巻、北上、水沢、一関、大船渡、釜石
- ・参加者数 約500名

## ③ PRブース「わんこ広場」でのPR行動の実施

大会参加者や観覧者をおもてなしする「わんこ広場」内にPRブースが準備され、オフィシャルスポンサーである本会にも割り当てられたことから、延べ5日間にわたり岩手協のテレビCM素材やトラック輸送の紹介素材、災害物流の紹介素材のDVD上映や、PRグッズ（パンフレット、ティッシュ等）の配付を行い、トラック運送事業の公益性や重要性について、県内外からの来場者に対し広くPR行動を実施した。

### 【感謝状の贈呈】

去る、平成28年11月22日（火）、岩手県国体・障がい者スポーツ大会局、岩間 隆 局長が来訪し、本会が実施した「希望郷いわて国体・いわて大会」に係る、関連物資、資材等の搬送業務、並びに障がい者大会の観戦・応援行動に対しお礼を述べると共に、高橋会長に対し感謝状が手交された。

## (3) 「10月9日トラックの日」広報事業

平成4年、毎年10月9日を「トラックの日」と制定して以来、全日本トラック協会並びに全国の都道府県トラック協会では、トラック運送業界の社会的地位向上を目指し各種PR事業を展開している。本会では今年も「私の街にこんなトラックあったらいいな」絵画コンクール、イベント「トラックフェスタ」を事業の柱として位置付け、広報委員会、青年経営研究会と連携しつつ事業を実施した。

### ① 「トラックの日」事業打ち合わせ会の開催

「トラックの日」事業の推進に当たり、岩手県トラック協会青年経営研究会の役員による事業打ち合わせ会を開催し、絵画コンクール、イベントの運営等について検討いただいた。

- 第1回 平成28年5月11日 総合研修会館
- 第2回 平成28年8月8日 総合研修会館
- 第3回 平成28年12月12日 総合研修会館

## ② 第23回「私の街にこんなトラックあったらいいな」絵画コンクールの実施

県内の小学生を対象に広く絵画を募集した標記コンクールには113校から900点の応募があり、9月2日、総合研修会館において厳正な審査を行い、最優秀賞（1点）、優秀賞（5点）、5きげんテレビ賞（1点）、大型ディーラー特別賞（4点）、協会賞（10点）、佳作（15点）、努力賞（20点）、合計56点の入選作品を決定した。

表彰式は9月25日（日）、（株）合同資源宮古出張所（宮古市小山田）敷地内特設会場で開催した「トラックフェスタ2016 in 宮古」の中で開催され、高橋会長から入賞者に対し表彰状と副賞が授与された。また、上位6作品を使用した平成29年のカレンダーを制作し、会員事業者、県内の小学校、関係機関等に配布した。

### 【第23回 私の街に『こんなトラックあったらいいな』絵画コンクール 上位入賞者】

No.	賞	氏名	学年	性別	作品名
1	最優秀賞	千葉 まど果	6	女	届けよう 宮沢賢治の世界トラック
2	優秀賞	山田 帆ノ香	5	女	国体トラック
3	優秀賞	坂井 望咲	4	女	岩手のおいしいものトラック
4	優秀賞	関 大輔	4	男	へんけい！災害パトトラック
5	優秀賞	伊藤 彩楽	3	女	古代生物見学ツアートラック
6	優秀賞	神山 ひなた	3	女	岩手もりだくさん親子トラック

## ③ イベント「トラックフェスタ2016 in 宮古」の開催

宮古市をはじめとする関係行政、団体の他、宮古支部管内の会員事業者、青年経営研究会メンバー等、多くの方々の支援・協力をいただき、平成28年9月25日（日）、（株）合同資源宮古営業所（宮古市小山田）敷地内に設置した特設会場において「トラックフェスタ2016 in 宮古」を開催した。8月末に県内を襲った台風10号の影響により、宮古市街地や会員事業者にも被害が出たため、一時は開催が危ぶまれたが、宮古支部会員の方々の熱意とご協力により、予定通り開催することとなった。当日は、朝から好天に恵まれ、開催地域である宮古市、山田町等を中心に約2,100名を超える来場者で賑わい、盛会裏に終了することが出来た。

会場内には多数のトラック車両を展示した他、体験乗車を初めとする各種アトラクションや緊急物資輸送の紹介ブースも設け、来場者の方々にに対し緑ナンパトラックの公益性や重要性について十分にPRできる場となった。

### 【車輛展示】

- ディーラー4社提供車両 （大型ダンプ×2台、大型ウィング×2台）
- 岩ト協会事業者提供車両 （タンクローリー、ユニック車両、パッカー車）

### 【アトラクション】

- ・ 絵画コンクール受賞作品展示 ・ 絵画コンクール表彰式
- ・ 体験乗車（トラクタヘッド、高所作業車）
- ・ 運転席試乗&死角体験 ・ 輸送戦隊「ハコブンジャー」ショー
- ・ 岩ト協トラックドライバーコンテスト優勝者による車両の日常点検実演
- ・ トラックこども綱引き ・ フォークリフト運転体験



- ・食の振る舞い（ホタテ焼き、サーモンスティック） ・もちまき
- ・物販コーナー ・白バイ（パトカー）と記念撮影 ・運転操作体験検査
- ・衝突実験車両展示 ・チャイルドシートの装着体験
- ・「太鼓演舞」（山口太鼓の会） ・「ダンス」（ダンスチーム M. D. S）
- ・こども安全免許証発行 ・ふわふわエアートランポリン ・クイズラリー
- ・業界PRパネルブース ・オリジナル風船プレゼント
- ・オリジナルトラック型貯金箱制作体験
- ・ビジョンカー放映（岩ト協CM、アニメ「もしもトラックが止まったら」）
- ・宮古、室蘭フェリー航路開設PRコーナー ・いわて国体PRコーナー

#### （4） メディアを活用した広報事業

##### ① テレビによる広報

###### （ア） CM：アニメCM素材（6種）

トラック輸送と日々の暮らしとの密接な関わりについて、親しみやすいタッチで地域住民に理解を求めため、アニメCM素材（6種）を通年で放映した。なお、このCMはイベント「トラックフェスタ in 宮古」や、国体PRブースで実施したアンケート調査においても、各年代を通じ高い割合で認知されているとの結果が出ている他、会員事業者、関係各方面からも好評を得ている。

（放映期間：H28/04/01～H29/03/31 民放4社 60秒／本×198本）

###### （イ） CM：「ハコブンジャーリズム体操編」の制作

本会の人気キャラクター「輸送戦隊ハコブンジャー」の更なる有効活用を狙うと共に、業界PR事業の浸透具合を図るバロメーターの一つとしても活用することを目的として、新たなCM素材「ハコブンジャーリズム体操」編を制作した。（60秒・フルカラー）今後はトラックフェスタの会場等において積極的に活用し、業界のイメージアップを図るものとする。

###### （ウ） CM：「トラックの日」（ハコブンジャー編）

国内物流の基幹産業であるトラック輸送が、本当は身近で重要な存在であることを、地域住民の方々に考えていただくきっかけづくりを目的として、10月9日「トラックの日」の広報事業を実施しているが、その一環として、本会の人気キャラクター「輸送戦隊ハコブンジャー」を活用した「トラックの日」啓発CM素材を5日間限定で放映した。（放映期間：平成28年10月5日～9日 県内民放4社 15秒×68本）

##### ② ラジオによる広報

###### （ア） ラジオCM（交通事故防止）の放送

高齢ドライバーを中心にセンターラインオーバーに起因する事故が多発し、会員事業者の第2当事者となる事故原因の1位となっていることから、「対向車線へのはみ出し防止」をメインテーマとし、時節ごとの注意ポイントの啓発を狙いラジオCMを通年で放送した。また、労働災害削減目標の達成に向け、意識の高揚を図るため「運転席や荷台からの飛び降りは厳禁」についても併せて啓発を図った。

（放送期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日 県内ラジオ2局 20秒×300本）

#### (イ) ラジオCM（ライトの早め点灯啓発）の放送

これまでも継続的に取り組んできた「ライトの早め点灯」の更なる浸透を図り、薄暮時間帯の事故削減につなげるため、夕方の日没時間帯（午後4時頃（12月～1月は午後3時頃））に、ライトの点灯を促すスポットCMを放送した。

（放送期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日 県内ラジオ2局 計10秒×304本）

#### ③ 新聞による広報

広報委員会では「業界の主張を前面に押し出すPRではなくトラック輸送と日々の暮らしとの密接な関わりや、存在の重要性について柔らかいタッチで伝える」という方針を打ち出しこれを継続している。

今年度は、「希望郷いわて大会」の観戦・応援行動とリンクさせ、障がい者大会の盛り上げを狙い、大会開始前日の10月21日、岩手日報に広告を掲載した。掲載内容についても、最初の掲載以降、好評を博している「あなたの笑顔で明日も頑張る」編をベースに、国体・障がい者大会を応援するコメントを併せて掲載した。

（「届けてくれてありがとう。あなたの笑顔で明日も頑張る！」 平成28年10月21日 岩手日報 全15段）

#### (5) メディア懇談会の開催

平成29年2月23日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、14回目となるメディア懇談会を開催した。この取り組みはトラック運送業界が抱える多くの課題とそれに対する取り組みについて、社会的影響力の大きいメディア関係者に対し、正しい理解と協力を求める場として継続しており、当日は県内メディア関係者27名（9社）、協会関係者13名が参加した他、（公社）全日本トラック協会 細野高弘専務がオブザーバーとして出席した。

今回の懇談会ではトラック運送業界における「改善基準告示」のあらましについて説明し、本来、厳しい時間的制約の中で事業運営を行うこととされている一方で、積み込み先や配送先での長い待ち時間が、業界の長時間労働の一因となっている現状等について説明し理解を求めた。なおメディア各社の取材スタッフも多数来場し、懇談会の模様が新聞、テレビ等でニュースとして報道された。

#### (6) 業界内部に向けた啓発活動の推進

協会に寄せられる苦情の多くは危険運転や悪質マナーについてであり、これらについては事実関係を確認の上、「岩手県適正化事業実施機関」として事業者に対し改善指導を行っている。また、会員事業者の関係する重大交通事故の発生状況と併せて、会報「岩手県トラック情報」にも掲載し、広く会員事業者に対し周知し同種の事案の再発防止を図った。

#### (7) その他の広報活動

業界PRの他、地域貢献の観点から、関係団体や県内メディア各社の実施する各種キャンペーン等について、交通事故防止企画など協会事業の方向性と合致するものについて機会を捉えて協賛した。（全36企画）

## 7. 緊急物資輸送及び体制整備等に関する事業

#### (1) 岩手県総合防災訓練への参加

例年、実施される「岩手県総合防災訓練」については、「希望郷いわて国体・いわて大会」開催の影響もあり、平成28年度は実施されなかった。

※東北運輸局による「各県トラック協会」との情報伝達訓練

平成28年9月1日、災害が発生したとの想定で、防災メールでの緊急連絡体制の確認が主たる内容の緊急通信訓練が実施された。

## (2) 緊急時の体制整備及び維持

県内各地（支部事務所等）に配備を行った小型発電機と衛星電話は、有効保持が必要不可欠で有ることから、防災の日（9月1日）に通信テスト及び稼働テストを実施しこれを確認した。また、有事に際し遅滞なく緊急物資輸送の運営体制（対策本部）を構築すると共に、ライフラインが寸断された状況下においても、当面の間その運営を維持するため、防災用品、備蓄用の飲料水・食糧等を総合研修会館並びに支部事務所等に配備している。

### 【Em-Net（緊急情報ネットワークシステム）】

国民保護行政においては関係法に基づき、官邸から関係機関に対し警報の通知や避難措置の指示など、緊急に伝達すべき情報をEm-Net（緊急情報ネットワークシステム）により伝達することとしているが、岩手県を通じて内閣官房及び消防庁からシステム導入の要請があり、平成28年3月にシステム導入完了し、以後、毎月1度の導通試験を継続しており、引き続きシステムの有効保持を図るものとする。

## (3) 緊急支援物資輸送の実施

### ① 熊本地震への対応

熊本県益城町で最大震度7を観測するなど、平成28年4月14日から熊本県熊本地方を震央として相次いで発生した熊本地震（最大Mj7.3）が、甚大な被害をもたらしたことを受け、岩手県商工労働観光部や盛岡市からの要請に基づき、発災から二日後の4月16日から緊急支援物資輸送に係る対応業務を実施した。詳細は以下の通り。

出発日	出発地および到着地	台数	内容
H28/04/17	遠野市（総合防災センター）～熊本県菊池市	1台（10t）	飲料水、ブルーシート
	北上市（合同庁舎）～熊本県菊池市	1台（10t）	”
H28/04/21	矢巾町（民間倉庫）～熊本県阿蘇市	2台（10t）	食用品（岩手特産品）
H28/04/25	盛岡市～熊本市 ※盛岡市からの要請	1台（10t）	簡易トイレ、ブルーシート他

※その他、別途市町村から会員事業者へ直接要請があり、適宜これに対応したとの報告を受けている。

### ② 台風10号豪雨災害への対応

平成28年8月30日18時頃、気象庁の統計史上初めて東北地方の太平洋側（大船渡市付近）から上陸した台風10号は記録的な大雨を降らせた。この影響により、宮古市（閉伊川）、岩泉町（小本川）、久慈市（久慈川・長内川）等の河川が氾濫し、建物や施設が甚大な被害を受けた他、県内で20名の死亡も確認された。これを受け、岩手県商工労働観光部から要請に基づき、発災翌日の8月31日から物資輸送を実施した。

出発日	出発地および到着地	台数	内容
H28/08/31	二戸市（防災倉庫）～岩泉町	1台（4t）	飲料水等
H28/09/01	二戸市～宮古市	1台（4t）	簡易トイレ
H28/09/02	盛岡市（純情米センター）～岩泉町（町民会館）	2台（4t）	米600袋（10kg）
H28/09/04	盛岡市（御所ダム管理事務所）～岩泉町（町民会館、町小川支所、釜津田小学校・大川小学校）	5台（4t）	食料品等

### 【災害義援金・見舞金への協力】

「平成 28 年熊本地震」並びに「台風 10 号災害」により被災したトラック運送事業者の復興・復旧の一助とすべく「災害義援金・見舞金」について協力を求めたところ、多くの会員からご厚意が寄せられた。なお、義援金・見舞金は全額、被災地、被災会員へ寄贈した。

- ・平成 28 年熊本地震 3,880,000 円（183 社、3 支部） ※全ト協を通じ全額、熊本県ト協等へ寄贈
  - ・台風 10 号被害 1,600,000 円（121 社、1 支部） ※本部の 30 万円と併せ被災した 4 社に対し寄贈
- ※会員被害の状況： 事務所 8 件（半壊 3 件、床上浸水 3 件、その他 2 件）  
車両被害 57 両（浸水 32 両、その他 25 両）

## 8. 出捐金の拠出

本年度は運輸事業振興助成交付金の 24.6%を出捐金として（公社）全日本トラック協会に拠出した。なお、この出捐金は同協会が実施する運輸事業の振興に係る事業の内、「公益目的事業」として位置付けられた事業に全額充てられている。《「運輸事業の振興の助成に関する法律第三条第一項の事業を定める政令」（平成二十三年九月二十六日政令第三百号）の第八項による》（平成 28 年度 出捐金額 75,796,000 円）

## 9. 東北六県トラック協会連合会 事業者大会（青森大会）

平成 28 年 9 月 15 日、ホテル青森（青森県青森市）において、東北六県トラック協会連合会事業者大会が開催され、東北全域から約 200 名（本会からは 19 名）が参加した。弘前大学大学院 中路重之教授が「今、トラック事業者に求められている健康づくり」と題し講演し、健康のため各人が「ミニ健康博士」として、知識とノウハウ身に着け実践することが重要であると述べた。また、岩手、福島、山形の代表がそれぞれ意見発表を行い、岩手県は小野寺正太郎副会長が「岩ト協における労働対策の取り組み」と題し、「荷主懇談会」「荷台の昇降装置」について意見を述べ好評を博した。更には「取引環境の改善と長時間労働の抑制」や「準中型免許の導入に伴う高校新卒者等の人材確保」など合計 8 つのスローガンを含む大会決議（案）を満場一致で決議し大会を終了した。

## 10. 全ト協 第 21 回全国トラック運送事業者大会（鳥取大会）

（公社）全日本トラック協会が主催する第 21 回全国トラック運送事業者大会が、平成 28 年 10 月 6 日、鳥取県米子市「米子コンベンションセンター」および「米子市文化ホール」で開催され、全国から約 1,200 名（本会からは 20 名）が参加した。業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、山積する課題に対応するため「トラック業界の交通安全対策の推進」「トラック業界の人材確保及び育成」の二つのテーマで分科会を開催、パネルディスカッションを行った他、「東洋美人の酒造り」と題し、（株）澄川酒造場 代表取締役の澄川宜史氏が記念講演を行った。なお、大会の結びとして 9 項目の大会決議を満場一致で採択し、参加者全員で「ガンバローコール」を行い閉幕した。

## 11. 要請行動等の実施

### 【平成 29 年度税制改正に係る岩手県選出国會議員に対する要望行動】

県選出の 9 名の国會議員に対し、平成 29 年度税制改正・予算要望に関する要望行動を実施した。今年度は岩手県内の各議員事務所を以下の日程で来訪し、「平成 29 年度税制改正・予算に関する要望書」を提出し、トラック運送業界としての各種要望について説明し理解を求めた。なお、国会開催期間中ということもあり秘書の方々への伝達となったが、要望内容については具体的な回答を頂きたい旨併せて要請している。

## ● 主な要望項目

- ・ 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現（税制関連）
- ・ 高速道路料金の更なる引下げ（予算関連） 他

## ● 要望行動

平成 28 年 12 月 12 日（月） 協会：小野寺正太郎副会長 佐藤専務、佐々木常務

- ・ 黄川田 徹 事務所（一関市）
- ・ 小 沢 一 郎 事務所（奥州市）
- ・ 藤 原 崇 事務所（北上市）

※橋本英教氏は県内事務所移転により所在不明であったため、議員会館へ要望書を郵送した。

平成 28 年 12 月 14 日（水） 協会：庄子清信副会長 佐藤専務、佐々木常務

- ・ 階 猛 事務所（盛岡市）
- ・ 木戸口 英 司 事務所（盛岡市）
- ・ 高 橋 ひなこ 事務所（盛岡市）
- ・ 鈴 木 俊 一 事務所（滝沢市）

※平野達男氏は県内事務所不在のため、議員会館へ要望書を郵送した。

## 1 2. 研修会館の維持管理等について

### （1） 研修会館の整備

本部のある総合研修会館（矢巾町）をはじめ、県内計 6 か所の研修会館を運営しているが、施設の有効保持及び有効活用のため修繕工事等を実施した。

- 一関研修会館 / 網戸設置
- 二戸研修会館 / 屋外給水設備改修
- 水沢研修会館 / 玄関ドア修繕

### （2） 盛岡トラックステーションの利用状況

本会では、（公財）貨物自動車運送事業振興センターからの委託を受け、盛岡トラックステーションの管理・報告事務を行っている。平成 28 年度の利用概況は次の通り。

- 年間福祉施設利用者数 13,002 人（前年 12,889 人）
- 年間トラック立寄台数 28,552 台（前年 29,498 台）

## 1 3. 表彰関係

### （1） 東北運輸局長表彰 岩手運輸支局長表彰

平成 28 年度運輸関係事業功労者等表彰式が、11 月 1 日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催され、今年度も業界の発展に尽力してきた方々が以下の通り表彰された。

① 東北運輸局長表彰

ア) 事業従事者の部

所 属	氏 名
(株)北岩手運輸	渡 辺 信 一
(株)北岩手運輸	花 坂 修
岩手庄子運送 (株)	氏 家 清 喜

イ) 運転者の部

所 属	氏 名
(株)北岩手運輸	野 場 健
岩手庄子運送 (株)	森 崎 春 夫
(株)共立貨物	張 替 義 春
(株)共立貨物	斎 藤 広 明
DOWA通運 (株)	菊 池 修
日本通運 (株)	八 幡 美千雄
東磐運送 (株)	伊 藤 賢 一
東磐運送 (株)	渡 辺 浩 樹

ウ) 安全性優良事業所表彰

事業者名	事業場名
田中産業 (株)	盛岡営業所
武蔵貨物自動車 (株)	水沢営業所
武蔵貨物自動車 (株)	一関営業所

② 岩手運輸支局長表彰

ア) 事業役員の部

所 属	氏 名
北和運輸 (有)	鈴 木 忠 雄

イ) 事業従事者の部

所 属	氏 名
熊谷運送 (株)	工 藤 武 徳
東磐運送 (株)	菊 地 進
東磐運送 (株)	木 村 ミ ネ

ウ) 運転者の部

所 属	氏 名
(株)北岩手運輸	米 内 正 夫
(株)北岩手運輸	長 澤 憲 成
(株)北岩手運輸	大 林 久 浩

所 属	氏 名
(株)北岩手運輸	滝 沢 憲 美
北日本重機 (有)	武 田 梅 雄
北日本重機 (有)	吉 田 喜三男
岩手庄子運送 (株)	澤 田 輝 彦
東北鉄道運輸 (株)	長谷川 信 二
白金運輸 (株)	及 川 清 志
白金運輸 (株)	及 川 良
白金運輸 (株)	八重樫 幸 治
白金運輸 (株)	菊 池 章 晃
白金運輸 (株)	及 川 執
白金運輸 (株)	小田島 克 哉
白金運輸 (株)	千 葉 有 治
白金運輸 (株)	岩 淵 純 平
白金運輸 (株)	藤 原 聡
白金運輸 (株)	石 田 守
白金運輸 (株)	菊 池 健 二
東磐運送 (株)	菊 池 幸 士
東磐運送 (株)	石 川 憲 一
東磐運送 (株)	氏 家 和 美
東磐運送 (株)	阿 部 学

エ) 安全性優良事業所表彰

事業者名	事業場名
白金運輸 (株)	本社営業所
大東運輸 (株)	本社営業所
東磐運送 (株)	一 関 支 店

(2) (公社)全日本トラック協会 関係 (平成29年度岩ト協通常総会で表彰伝達 H29/5/26)

① 全日本トラック協会表彰規程による表彰

事業役員の一部

所 属	氏 名
(株)本宮運輸	小野寺 講 悦
岩手トレーラー建設工業 (有)	岩 崎 陸 栄
(株)サンライズトランスポート	佐 藤 長 夫

② 第56回「正しい運転・明るい輸送運動」表彰

ア) 従業員の部

地域等	事業者名	氏 名
北 上	北上運輸 (株)	大 脇 順
宮 古	田老運送 (有)	鈴 木 茂

イ) 事業所・団体の部

地域等	事業者名
岩 泉	(有) 似内自動車工業

(3) (公社) 岩手県トラック協会会長表彰 (平成 28 年度通常総会で表彰 H28/5/24)

① 従業員の部

地域等	事業者名	氏 名
中 央	岩手庄子運送 (株)	千 葉 洋 二
中 央	岩手庄子運送 (株)	小 笠 寺 康 行
水 沢	白金運輸 (株)	三 浦 直 樹
水 沢	DOWA通運 (株)	小 野 寺 啓 恭
水 沢	DOWA通運 (株)	菊 地 由 紀

② 運転者の部

地域等	事業者名	氏 名
中 央	二葉運送 (株)	太 野 光 男
中 央	二葉運送 (株)	荒 屋 敷 雄 幸
中 央	二葉運送 (株)	阿 部 鉄 也
中 央	二葉運送 (株)	佐 々 木 茂 樹
中 央	(有) 北菱物流	澤 田 恒 志
中 央	(有) 北菱物流	臼 沢 功
中 央	岩手庄子運送 (株)	加 藤 健 二
中 央	岩手庄子運送 (株)	名 取 克 展
中 央	(株) 都南貨物	山 本 康 彦
中 央	(株) 都南貨物	土 室 祐 一
中 央	(有) 盛南輸送	石 川 明 彦
中 央	東北鉄道運輸 (株) 盛岡営業所	河 治 航
中 央	東北鉄道運輸 (株) 盛岡営業所	高 橋 修
北 上	徳三運輸倉庫 (株) 北上営業所	阿 部 和 彦
水 沢	白金運輸 (株)	及 川 執
水 沢	白金運輸 (株)	及 川 良
一 関	東磐運送 (株)	小 山 武 男
一 関	東磐運送 (株)	小 山 亨
一 関	東磐運送 (株)	菅 原 孝 二
一 関	東磐運送 (株)	佐 藤 極
大船渡	岩手県南運輸 (株)	佐 藤 秀 悦
大船渡	岩手県南運輸 (株)	皆 川 隆 幸
大船渡	岩手県南運輸 (株)	小 田 孝 二
久 慈	(株) 正洗運輸	佐 々 木 め ぐ み
久 慈	(株) 正洗運輸	泉 山 則 幸



## 14. 庶務事項

### (1) 通常総会、理事会の開催状況

#### ① 平成28年度 第1回 理事会

日 時 平成28年4月26日(火) 13:30~15:30  
場 所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室  
出席者 理事25名 監事3名 他  
議 案 ・平成27年度事業経過報告並びに決算報告の承認について  
・平成28年度通常総会決議(案)について  
・平成28年度通常総会の開催について  
・岩手県トラック協会会長表彰 表彰者の選考について  
・ゴルフ大会の開催について(総会翌日)

#### ② 平成28年度 通常総会

日 時 平成28年5月24日(火) 14:42~15:26  
場 所 ホテル紫苑 天河1  
出席者 459社(内、委任状311通) / 会員数620社 (定足数311社)  
議 案 ・平成27年度事業経過報告並びに平成27年度決算の承認について(案)  
・入会金および会費等に関する規程の一部改正について(案)  
※翌25日、盛岡ハイランドCCにおいて親睦ゴルフ大会を開催した(39名参加)

#### ③ 平成28年度 第2回 理事会

日 時 平成28年8月19日(金) 13:30~15:30  
場 所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室  
出席者 理事26名 監事2名 他  
議 案 ・環境クリーンキャンペーンの実施について  
・エコドライブコンテストの開催について  
・労働対策事業について(労災発生状況の報告含む)  
・平成28年度広報事業について ※「トラックの日」含む  
・希望郷いわて国体、いわて大会への協力行動について  
・岩手運輸支局長表彰の推薦について  
・盛岡TSの今後の運営について(報告)

#### ④ 平成28年度 第3回 理事会

日 時 平成28年11月22日(火) 13:25~15:23  
場 所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室  
出席者 理事21名 監事3名 他  
議 案 ・平成28年度事業者研修会の開催について  
・年末、年始労働災害防止に向けた取り組みについて(陸災防関連) 他

⑤ 平成 28 年度 第 4 回 理事会

日 時 平成 29 年 1 月 26 日 (木) 14 : 00~15 : 35

場 所 ホテル紅葉館

出席者 理事 28 名 監事 3 名 他

- 議 案
- ・平成 29 年度事業計画骨子 (案) 及び事業資金の見通しについて
  - ・霊柩会員の今後の取り扱い及び関係規程類の一部改正について
  - ・労働対策事業について

⑥ 平成 28 年度 第 5 回 理事会

日 時 平成 29 年 3 月 17 日 (金) 13 : 30~15 : 15

場 所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室

出席者 理事 28 名 監事 3 名 他

- 議 案
- ・会費収入の一部を公益事業会計へ繰り入れる件について
  - ・定款の一部改正について (案)
  - ・役員報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について (案)
  - ・平成 29 年度事業計画 (案) 並びに予算 (案) の承認について
  - ・岩ト協「防災業務計画」(案) の制定について

(2) 登記事項 平成 28 年度における登記事項はなかった。

(3) 会員事業者の動き

① 新規加入会員

No.	地域等	名称	代表者名	入会年月日	車両数
1	中央	(有) メンテナンス不來方	吉 田 喜 博	H28/04/01	12
2	北上	(株) ロジネクス北上営業所	金 子 均	H28/04/01	19
3	中央	(株) 久秀陸運	久 保 秀 道	H28/04/05	19
4	中央	(株) 上中通商	館 澤 晃	H28/04/18	8
5	中央	大宝 (株) 岩手営業所	菅 野 勇 司	H28/06/01	5
6	大船渡	(株) サカモト自動車 大船渡営業所	井 上 勝 雄	H28/06/01	5
7	宮古	(株) 大興 宮古営業所	川 口 利 彦	H28/06/09	5
8	北上	(有) カネタ運送	金 田 與志雄	H28/08/01	11
9	中央	広田ユニオン (株) 盛岡営業所	石 川 智 也	H28/08/08	5
10	久慈	下館建設 (株)	下 館 康 見	H28/08/09	7
11	中央	(株) AKC	昆 匡 紀	H28/09/01	5
12	中央	(同) 新和	工 藤 政 樹	H28/09/01	5
13	中央	エイト物流 (株)	高 木 将	H28/10/05	5
14	宮古	(株) 三協運輸サービス 宮古センター	熊 谷 章	H28/11/01	12
15	水沢	(有) 東北キャリアサービス	佐々木 力	H28/11/04	12
16	花巻	(株) 神田運送	神 田 正 志	H29/01/06	5
17	久慈	蒲野建設 (株)	蒲 野 秀 雄	H29/01/12	7
18	花巻	(株) レキスト 花巻営業所	野 崎 和 樹	H29/02/01	7

No.	地域等	名称	代表者名	入会年月日	車両数
19	久慈	北栄運輸（株）岩手営業所	岡崎 慎一	H29/03/01	5
20	北上	（株）篠崎運送倉庫 岩手支店	篠崎 晃市	H29/03/01	5
21	久慈	東北王子運送（株）久慈営業所	奈良 聖一	H29/03/10	38

② 退会・休止事業者

No.	地域等	名称	状況	異動日
1	一関	藤沢小型運送	退会	H28/04/30
2	中央	森田運送（株）盛岡営業所	退会	H28/06/30
3	花巻	菅原建設（株）	退会	H28/07/19
4	釜石	（株）光心地産 本社営業所	退会	H28/07/31
5	釜石	（株）山元	退会	H28/10/31
6	花巻	（有）セブン配送	廃止	H29/01/13
7	中央	オリエントエクスプレス（株）	退会	H29/03/31
8	水沢	岩手水沢運送（有）	退会	H29/03/31
9	一関	（有）細川運輸	退会	H29/03/31
10	久慈	プレステック（株）	退会	H29/03/31

③ 総正会員数            628 事業者    （平成 29 年 3 月 31 日現在）